

特定開発事業温暖化対策計画書の概要一覧

【令和元年度】																												
番号	特定開発事業の 名称	特定開発事業 を行う土地 の位置及び 区域	特定開発 事業者	特定開発 事業の目的	特定開発 事業を行う区域 の面積 (㎡)	特定開発事業の概要		エネルギー使用 の合理化	ヒートアイランド現象 の緩和	交通環境 への配慮	緑の保全と創出	工事に係る 配慮	再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1							特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の目標	特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の結果	工事の 着手予定 年月日	工事の 完了予定 年月日	届出の状況				
						棟番号	用途						延べ面積 (㎡)	備考	太陽光発電 (kW出力) △	太陽熱利用 △	風力発電 △	水力発電 △	地熱利用 △					再生可能エネルギー の活用 ●	その他 備考 ※2	変更届 変更(予定) 年月日及び 変更事項 ※3	完了届等 完了(中止) 年月日	
001	(仮称)日本パーカライジング株式会社海老名倉庫建築計画	海老名市中野三丁目1817-1ほか27筆	日本パーカライジング株式会社 代表取締役 鈴木 浩 共同建設株式会社 代表取締役 早野 恭一	倉庫・事務所の新築	11,785.27	1	倉庫・事務所	6,858.79	鉄骨造 地上2階 建築面積6,244.10㎡	・LED照明設備を採用した。 ・建物におけるエネルギー需要の抑制として風除室の採用、断熱化を行った。 ・大庭、樹木(高、中木)による建物への日射を遮蔽した。	・敷地外周に緑化を実施した。 ・海老名市住みよいまちづくり条例並びに神奈川県土地利用調整条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を図った。 ・トラックについては、進入と退出を別々にして周辺交通へ配慮した動線計画とした。	・自動車利用の抑制として駐輪場の整備を行った。 ・交通流の内滑化として駐車スペースを設けた。 ・みどりの協定(第2061号令和元年9月27日)の締結した。 ・公共緑地としてまとまった緑地を設け緑化に努めた。	・海老名市住みよいまちづくり条例並びに神奈川県土地利用調整条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を図った。 ・みどりの協定(第2061号令和元年9月27日)の締結した。 ・公共緑地としてまとまった緑地を設け緑化に努めた。	・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用した。	△	△				●	△コーポネ	様番号1 ・総合評価★★★★ 以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルC02排出率76%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.0以上	様番号1 ・総合評価★★★★ ・地球温暖化への配慮ライフサイクルC02排出率74% ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.0	2019/10/15	2020/10/31			2020/11/11
002	スタンレー電気(仮称)秦野第二製作所試験棟 新築工事	秦野市曾屋字明治畑242-2他、字大塚戸473-3他	スタンレー電気株式会社 代表取締役 北野 隆典	開発環境及び検証環境の施設整備に伴う研究施設等建設のため	40,000.15	1	研究施設	5,096.33	鉄骨造 地上1階 建築面積5,096.33㎡	・外壁に高断熱建材を用い建物の断熱化を図った。 ・建屋内及び敷地内照明に積極的にLED照明を導入。	・秦野市まちづくり条例に基づく緑化基準(10%)を満たす緑化(4,051.22㎡うち都市計画法に基づく緑化基準(3%)を満たす緑化(1,359.89㎡を含む))の緑化を図った。 ・敷地内の舗道舗装に透水性、保水性に優れたインターロッキングブロックを採用した。	・駐車場(260台)を整備した。 ・サービス搬入用車の一時的停車スペースを敷地内に確保した。	・秦野市まちづくり条例に基づく緑化基準(10%)を満たす緑化(4,051.22㎡うち都市計画法に基づく緑化基準(3%)を満たす緑化(1,359.89㎡を含む))の緑化を図った。(再掲) ・県道側敷地境界は約1mセットバックさせ、その部分を緑化した。 ・西側隣地境界側に既存樹木(概、35本)の保全した。	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・工事関係者にアイドリングストップを励行した。 ・グリーン購入法適合品を使用した。	△	△			●	△コーポネ	様番号1 ・総合評価★★★★ 以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルC02排出率80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5以上	様番号1 ・総合評価★★★★ ・地球温暖化への配慮ライフサイクルC02排出率75% ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5	2019/7/1	2020/6/30			2020/6/15	
003	(仮称)海老名市泉二丁目計画新築工事	海老名市泉二丁目953-4外3筆	日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 今泉 泰彦 J R西日本不動産開発株式会社 代表取締役社長 國廣 敬彦 東急不動産株式会社 住宅事業ユニット 首都圏住宅事業本部 執行役員本部長 佐藤 知之 小田急不動産株式会社 代表取締役 金子 一郎 相鉄不動産株式会社 取締役社長 杉原 正義 株式会社長谷工コーポレーション 代表取締役社長 池上 一夫	共同住宅新築のための開発事業	48,246.20	1	共同住宅1(A敷地)	38,452.01	鉄筋コンクリート造 地上15階(500戸) 建築面積3,688.40㎡	・住宅性能評価による省エネルギー等級3を取得予定 ・住戸に庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置し日射遮断に配慮する ・潜熱回収型給湯器を導入 ・共用部照明設備はタイマー及びセンサーによる制御を行う ・LED照明採用 ・縦断ガラスの採用 ・メインエントランスに風除室を計画	・海老名市住みよいまちづくり条例にて定める事業区域面積の20%以上の緑地を確保 ・共同住宅敷地内の中庭及び開発道路沿いに高木等植栽を配置する	・共同住宅(A敷地)に駐車場396台(戸数比79.2%)、駐輪場1000台(戸数比200.0%)を設置 ・共同住宅(B敷地)に駐車場350台(戸数比69.4%)、駐輪場1008台(戸数比200.0%)を設置	・海老名市住みよいまちづくり条例にて定める事業区域面積の20%以上の緑地を確保(再掲) ・共同住宅敷地内の中庭及び道路沿いに高木等植栽を配置する(再掲) ・提供公園(約2,894.84㎡)の設置及び、公園内に高木等植栽を配置する	・アイドリングストップを励行する	△	△		●	△コーポネ	様番号1・22 ・総合評価★★★★ 以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルC02排出率80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5以上			2020/1/6	2024/1/31			2020/5/29 開発事業者	
004	箱根仙石原PJ	足柄下郡箱根町仙石原字六郎兵衛1246番702他	株式会社フジタ 東日本開発事業部 執行役員事業部長 増山 祐一	箱根地域の増大する宿泊施設の需要に応え、ホテルを建設する。	19,365.32	1	ホテル	10,349.57	鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上2階、地下2階 建築面積4,931.61㎡	・LED照明設備を採用する。 ・共用棟において、自然採光を利用する計画とする。 ・電気自動車用充電設備(充電器3台、高速充電器2台の計5台)を設置する。	・温水ヒータ使用により排熱温度を低減し、排熱位置を建物上部に設置して通行者等への影響軽減を図る。 ・自然公園法における既存樹木伐採の規制等、関係法令の基準を踏まえて緑地の保全を図る計画とする。	・搬出入車両専用停車スペースや、電気自動車充電駐車を確保する計画とする。	・対象範囲における既存樹木を可能な限り保存する。	・アイドリングストップを励行する。	△	△		●	△コーポネ	様番号1 ・総合評価★★★★A 以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルC02排出率74%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.0以上			2025/11/1	2027/12/31			2025/11/1 ・開発事業者 ・開発事業名称 ・区域の面積 ・様番号 ・延べ面積 ・建築面積 ・措置の内容 ・評価の目標 ・着工予定日 ・完了予定日	
005	(仮称)小菅ヶ谷一丁目計画	横浜市区小菅ヶ谷1丁目1909番1、1899番1、1856番1	東急不動産株式会社 代表取締役 星野 浩明	共同住宅建設のため	23,242.43	A-1	共同住宅	11,151.57	鉄筋コンクリート造、地上5階(135戸) 建築面積3,021.78㎡	・住宅性能評価による省エネルギー等級4を取得(外壁：吹付硬質ウレタンフォーム、屋根：硬質ウレタンフォーム保温板による断熱化を図った。 ・住戸に庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置し日射遮断に配慮した。 ・潜熱回収型給湯器を導入した。 ・共用部照明設備はタイマー及びセンサーによる制御を行った。 ・LED照明設備を導入した。 ・縦断ガラスを導入した。	・植栽帯や緩衝緑地帯として、共同住宅敷地内の中庭及び道路沿いに高木等植栽を行った。 ・緑化地域制度(都市緑地法第34条)に基づいて、緑化基準 敷地面積の10%以上の緑化を行った。 ・住戸に庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置し日射遮断に配慮した。 ・住宅性能評価による省エネルギー等級4を取得予定(外壁：吹付硬質ウレタンフォーム、屋根：硬質ウレタンフォーム保温板による断熱化を図った。)(再掲) ・住戸に庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置し日射遮断に配慮した。(再掲)	・共同住宅に以下を設置した。 A135 戸 B221 戸 C102 戸 A敷地 駐車場 71 台 (戸数比52%) B敷地 駐車場 8 台 (戸数比5%) C敷地 駐車場 240 台 (戸数比177%) B敷地 駐車場 132 台 (戸数比58%) C敷地 駐車場 10 台 (戸数比4%) B敷地 駐車場 370 台 (戸数比167%) C敷地 駐車場 51 台 (戸数比50%) バイク置場 5 台 (戸数比4%) 駐輪場 188 台 (戸数比184%)	・改変箇所においては、シラカシ・タブノキ・ケヤキ等の在来種による緑化を図った。 ・植栽帯や緩衝緑地帯として、共同住宅敷地内の中庭及び道路沿いに高木等植栽を行った。(再掲) ・緑化地域制度(都市緑地法第34条)に基づいて、緑化基準 敷地面積の10%以上の緑化を行った。 (A敷地 緑化率：10%、緑化面積：696.08㎡) (B敷地 緑化率：11%、緑化面積：1,233.53㎡) (C敷地 緑化率：11%、緑化面積：635.70㎡)	・アイドリングストップを励行した。 ・敷地外から土砂の搬入を抑えるため、掘削残土の再利用を敷地内で行った。	△	△		●	△コーポネ	様番号A-1・B-1・C-1 【参考】 CASBEE横浜による総合評価 B+以上	様番号A-1・B-1・C-2 【参考】 CASBEE横浜による総合評価 B+	2020/4/30	2021/11/30			2023/4/21		

